2021 年 8 月 24 日

相鉄本社ビルなどで使用する電気の二酸化炭素排出量ゼロを実現

カーボンニュートラルの実現に向けて「アクア de パワーかながわ」を導入

相 鉄 グ ル ー プ

相鉄グループの㈱相鉄ビルマネジメント（本社・横浜市西区、社長・森村 幹夫）では、同社が管理・運営する相鉄本社ビル（横浜市西区）および相鉄南幸第 2 ビル（相鉄ムービル、横浜市西区）で使用する電気について、神奈川県内の水力発電所で発電した再生可能エネルギーによる「アクア de パワーかながわ」を導入し、本日（2021 年 8 月 24 日）、県下 4 例目の導入事業者として、神奈川県企業庁より認証書を授与されました。この導入により、両ビルで使用する電気の二酸化炭素排出量ゼロを実現し、年間約 1,241 トン※1（杉の木約 88,600 本相当※2）の二酸化炭素の排出を削減いたします。

「アクア de パワーかながわ」は、神奈川県と神奈川県企業庁、東京電力エナジーパートナー㈱が、県内 11 カ所の県営水力発電所で発電した再生可能エネルギーの地産地消と県内企業の二酸化炭素排出量の削減を図り、県の環境施策を推進することを目的として、2020 年 4 月から開始した取り組みです。

相鉄グループは、「アクア de パワーかながわ」の導入により、二酸化炭素排出量の削減と再生可能エネルギーの地産地消に貢献するとともに、電気料金の支払いを通じ、神奈川県における環境施策にも貢献します。

相鉄グループでは、気候変動が大きく注目される中、政府が掲げる 2050 年までのカーボンニュートラルの実現への貢献など、特に環境問題への対応は企業の社会的責任として取り組んでおり、今回の「アクア de パワーかながわ」は、その一環として導入しました。これからも事業活動を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の 17 のゴールの達成を目指し、地域社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

概要は、別紙のとおりです。

認証式の様子

※1　2019 年度の年間電気使用量に基づき算出　※2　杉の木 1 本の二酸化炭素吸収力は年間 14kg／本（出典：林野庁）

（別紙）

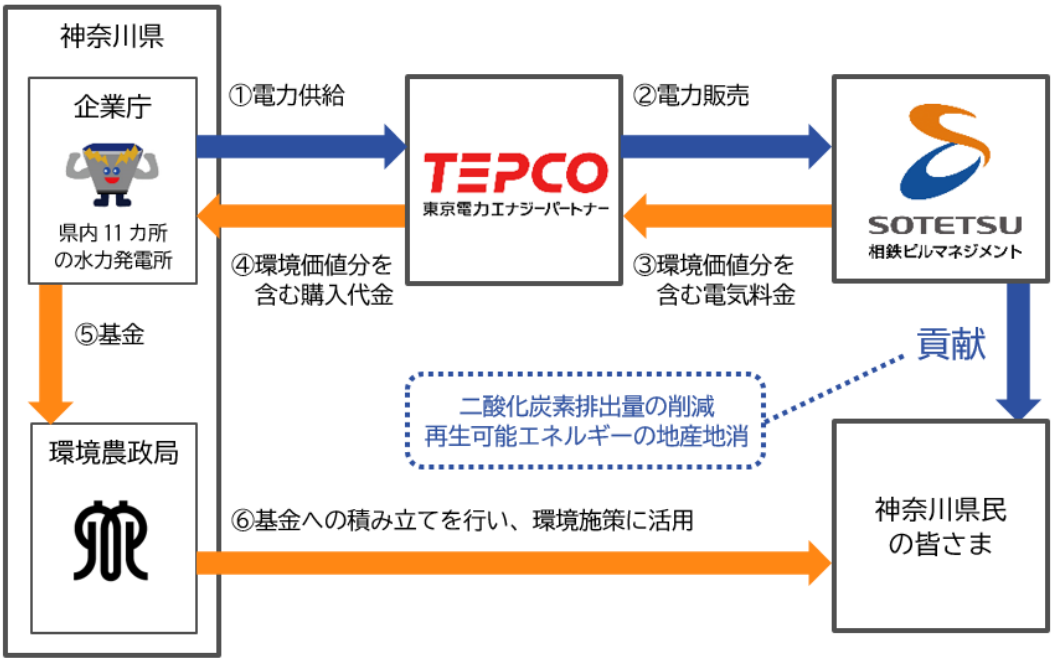
「アクア de パワーかながわ」導入の概要

1. 導入目的

相鉄グループが所有し管理・運営するビルで使用する電気に、神奈川県内の県営水力発電所で発電した再生可能エネルギーによる「アクア de パワーかながわ」を導入することで、以下に貢献することを目的としています。

①二酸化炭素排出量の削減　②再生可能エネルギーの地産地消　③神奈川県における環境施策

2. 概要図



3. 導入場所および適用日

相鉄本社ビル（横浜市西区）　2021 年 7 月 1 日適用

相鉄南幸第 2 ビル（相鉄ムービル、横浜市西区）　2021 年 6 月 23 日適用

4. 導入効果

場所	電気使用による年間二酸化炭素排出量		削減した二酸化炭素を杉の木に換算した場合
	導入前	導入後	
相鉄本社ビル	約　423 t	0	約 30,200 本分
相鉄南幸第 2 ビル	約　818 t	0	約 58,400 本分
合計	約 1,241 t	0	約 88,600 本分

※2019 年度の年間電気使用量に基づき算出。杉の木 1 本の二酸化炭素吸収力は年間 14kg／本（出典：林野庁）